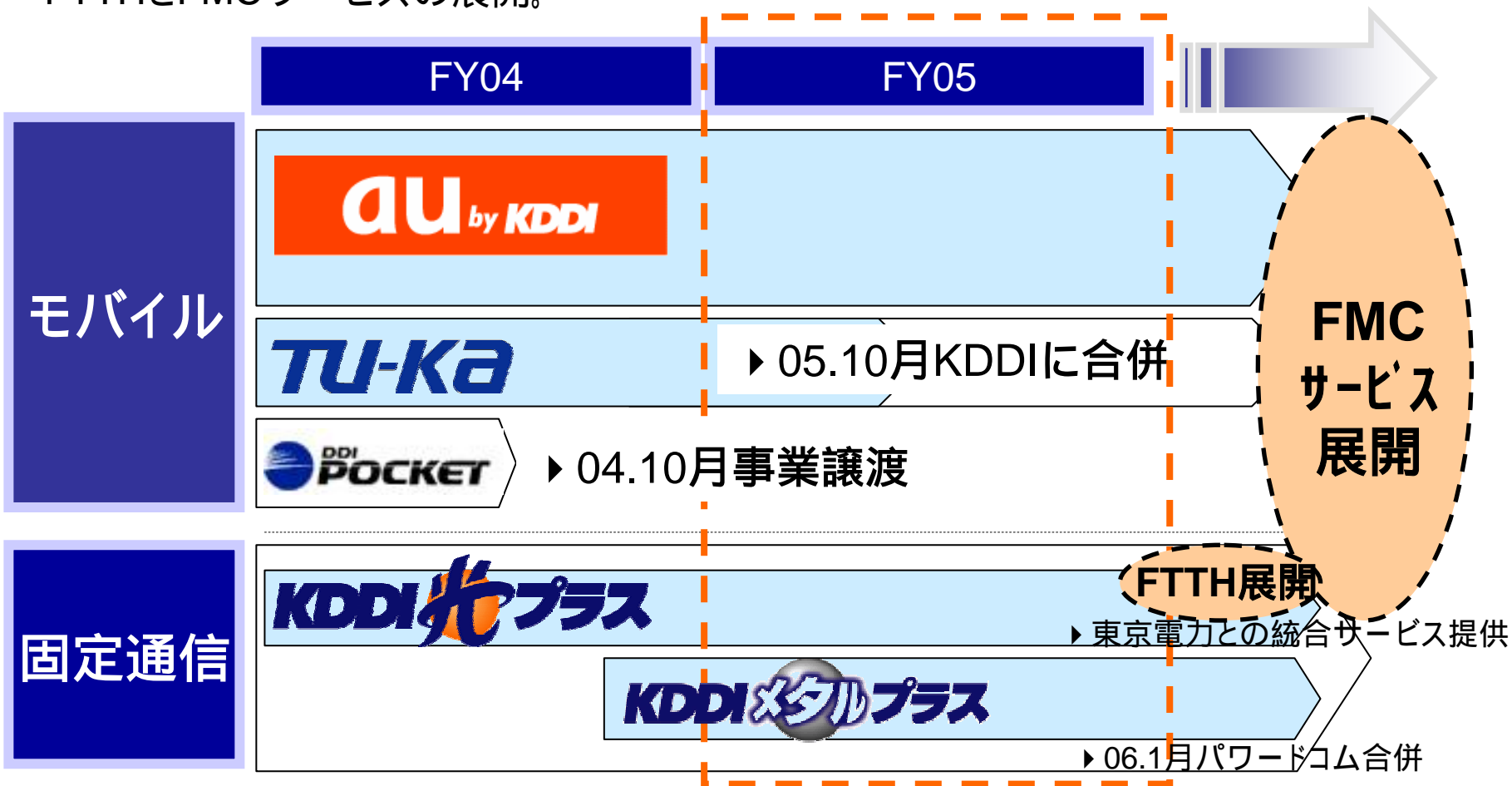


1. 今後の課題の整理

ツーカーはKDDIに合併、ポケットは事業譲渡と、合併時に重複していたモバイル事業を整理。au + ツーカーで現在のモバイル市場シェア27%を中期的に30%超へ拡大を目指す。

固定事業については、光プラス、メタルプラスの直収サービスへの転換促進。

FTTHとFMCサービスの展開。



2.1. コアネットワークのIP化・統合の流れ

Mobile

CDMA2000
電話交換網



MMD
(3GPP2)

GSM
電話交換網



IMS
(3GPP)

MMD: MultiMedia Domain
IMS: IP Multimedia Subsystem
NGN: Next Generation Network



固定移動
統合IP網

Fixed

固定電話
交換網



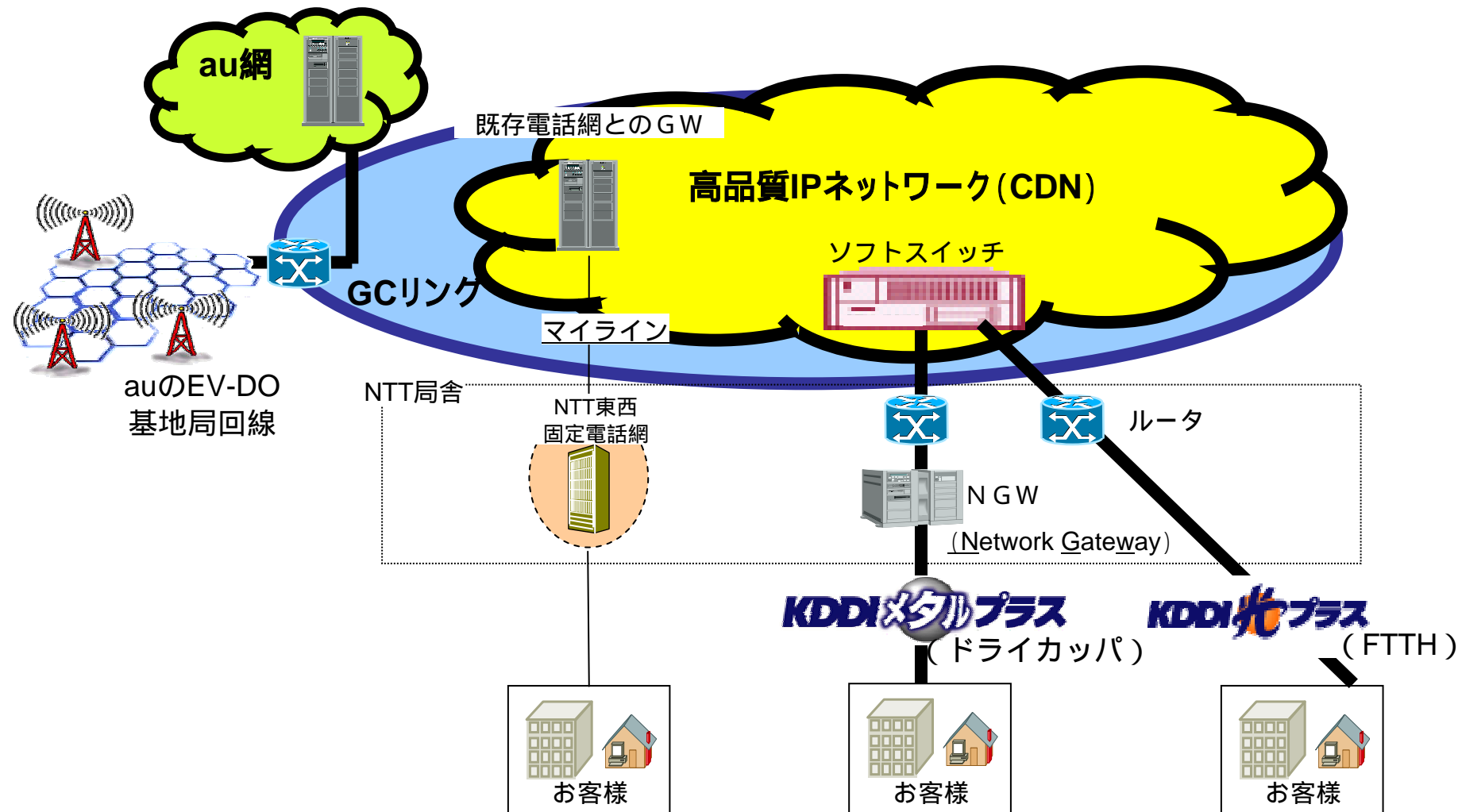
NGN
(ITU-T)



2.2. 固定網でIP化を先行

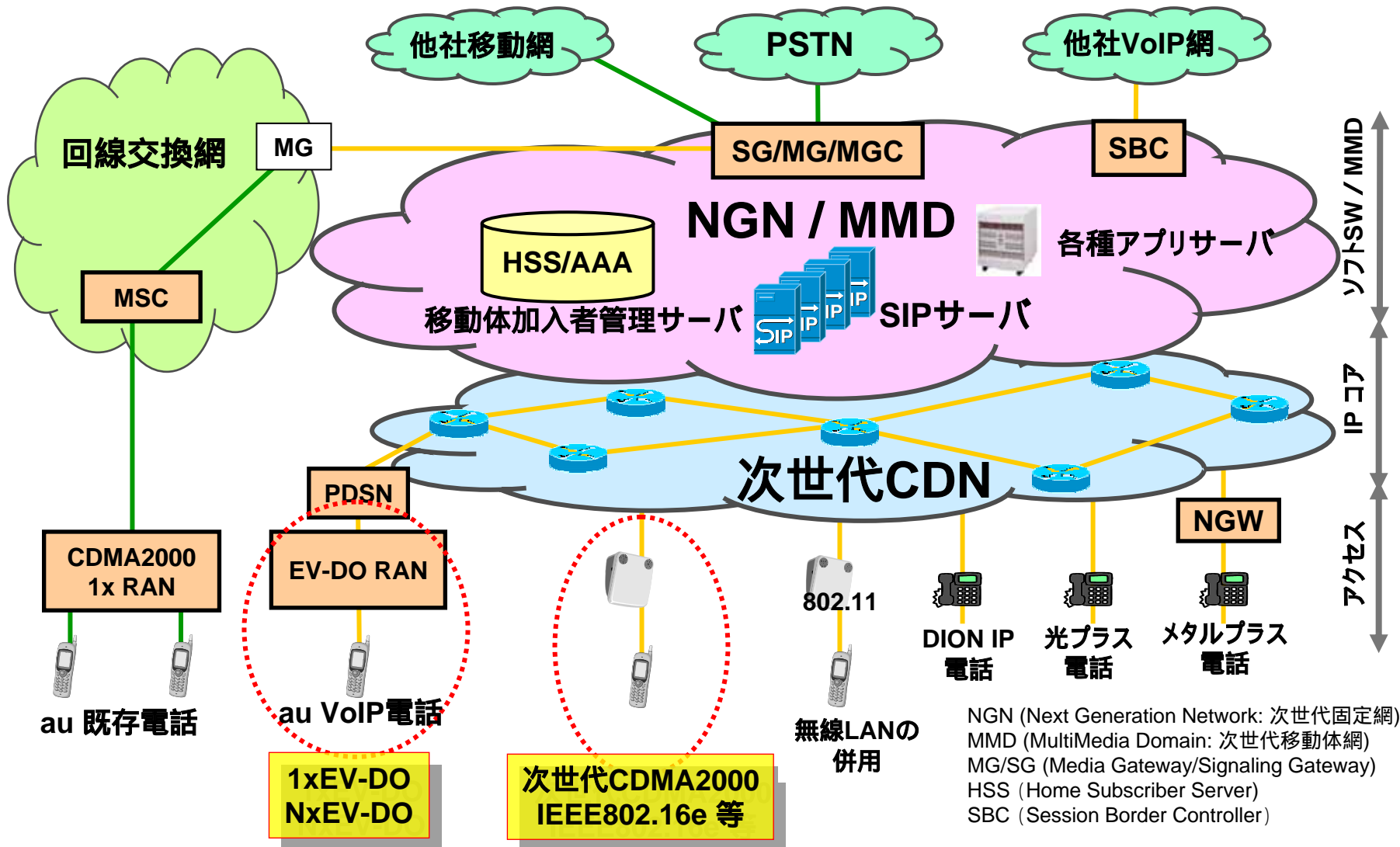
メタルプラス、光プラスによるお客様の直収化を推進すべく、共通バックボーンのGCリングとCDN (Contents Delivery Network) を拡張。

世界に先駆け、2008年3月末までに固定電話網のIP化を完了予定。



2.3.固定移動IP統合網

固定網と移動網の統合により、コスト競争力のあるインフラ構築とシームレスなFMCサービスの提供を目指す。



3. 規制環境への対応

ユニバーサルサービス基金制度見直し

■状況

総務省は、ユニバーサルサービス基金制度の見直しを推進。2005年10月25日答申予定。

■対応&影響

固定電話市場の縮小に加え、接続料見直しに伴う通信量に左右されないコストの控除やNTT東西加入電話基本料値下げ等により、2006年度にも基金発動の方向。

携帯ナンバーポータビリティ(MNP)の導入

■状況

2004年5月、総務省がMNPの導入に関するガイドラインを公表。2006年度のなるべく早い時期に全携帯事業者が導入する見込み。

■対応&影響

現在、実現方式、費用負担方法等に関する詳細を検討中。目標時期までに対応完了予定。

光ファイバの開放ルール

■状況

ブロードバンド化の進展に伴い、FTTH等光ファイバをアクセス回線とするサービスが顕在化。2005年6月現在、FTTH加入者数は約340万。

■対応&影響

指定設備であるNTT東西の光ファイバは、低廉なFTTHサービスの提供を実現するために引き続き開放が必要。お客様利便性の更なる向上に資するようFTTH事業を一層拡大。

3Gへの新規参入

■状況

2005年8月、1.7GHz帯又は2GHz帯を使用する携帯基地局の開設指針が告示され、開設計画の認定を受けるため、9月末の申請期限までに1.7GHz帯に2社、2GHz帯(TDD)に1社の新規参入希望者が申請。年末までに決定の予定。

■対応&影響

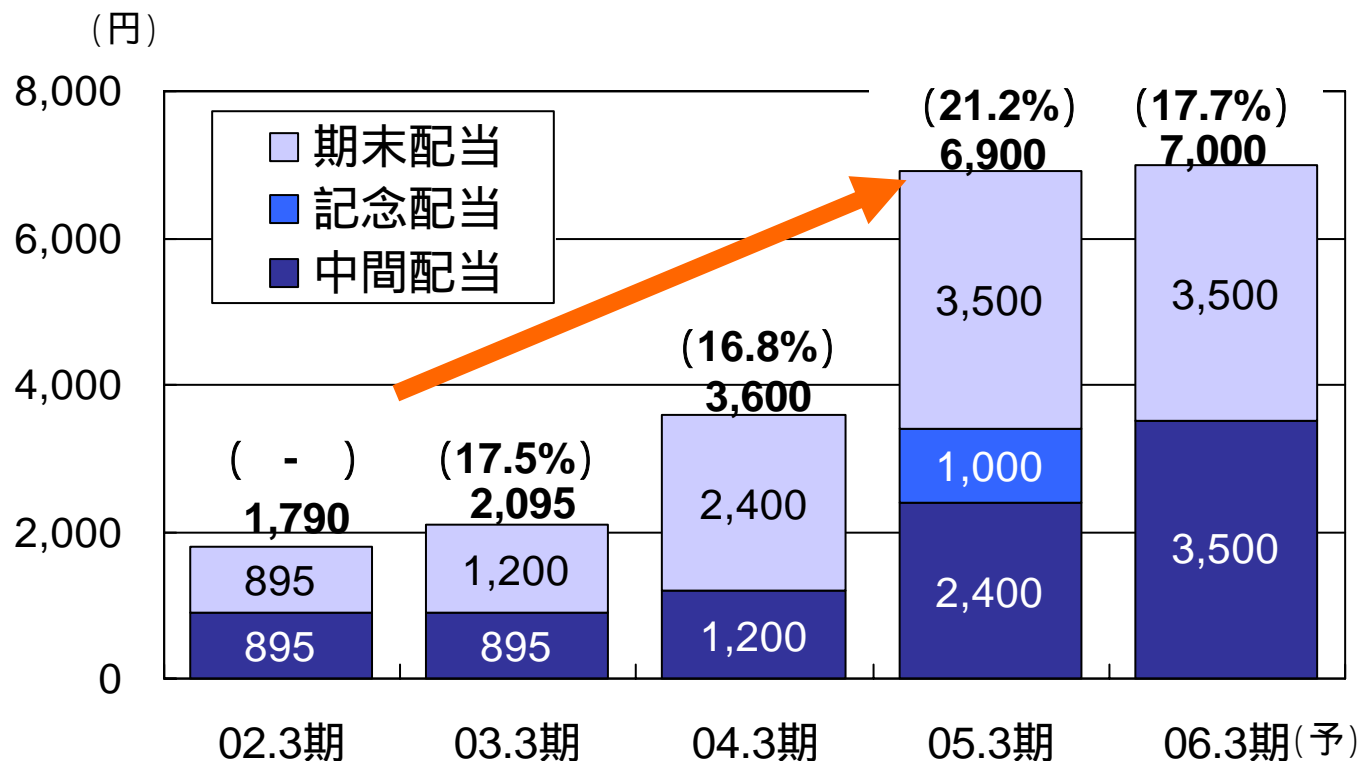
他社新規参入に際してはサービス面で優位性を堅持。

4. 株主還元

株主還元

成長への投資を勘案しつつ、安定的な配当を継続する

1株当たりの配当額の推移



(注) ()は配当性向。02.3期は純損失のため、(-)表示。